

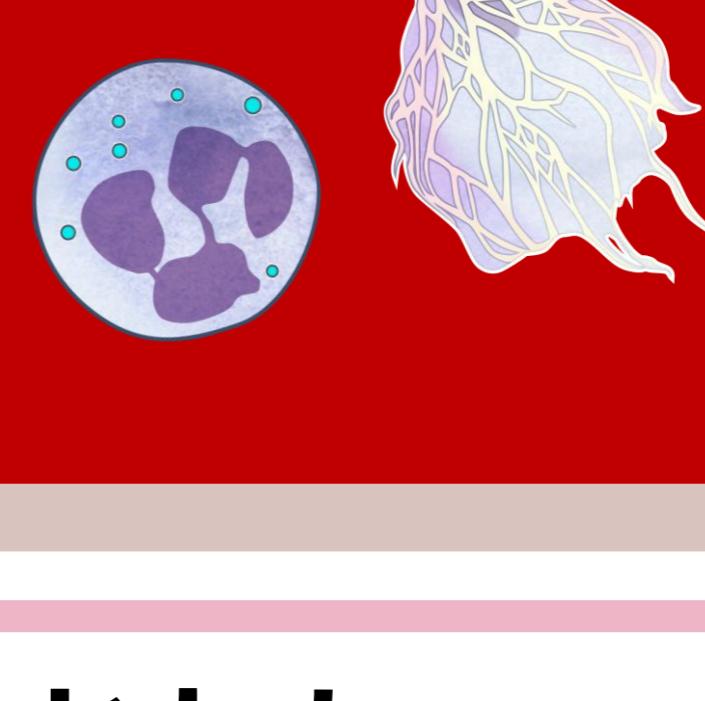
自己免疫疾患の治療法開発へ

—「好中球」からひも解く
抗リン脂質抗体症候群のメカニズム—

荒井 粋心

北海道大学 大学院保健科学院

病理・免疫検査学研究室



未来社会のあるべきかたち

➤ 原因不明の病気で苦しむ人がいない

➤ どんな病気でも「完治」が目指せる

抗リン脂質抗体症候群 (APS)

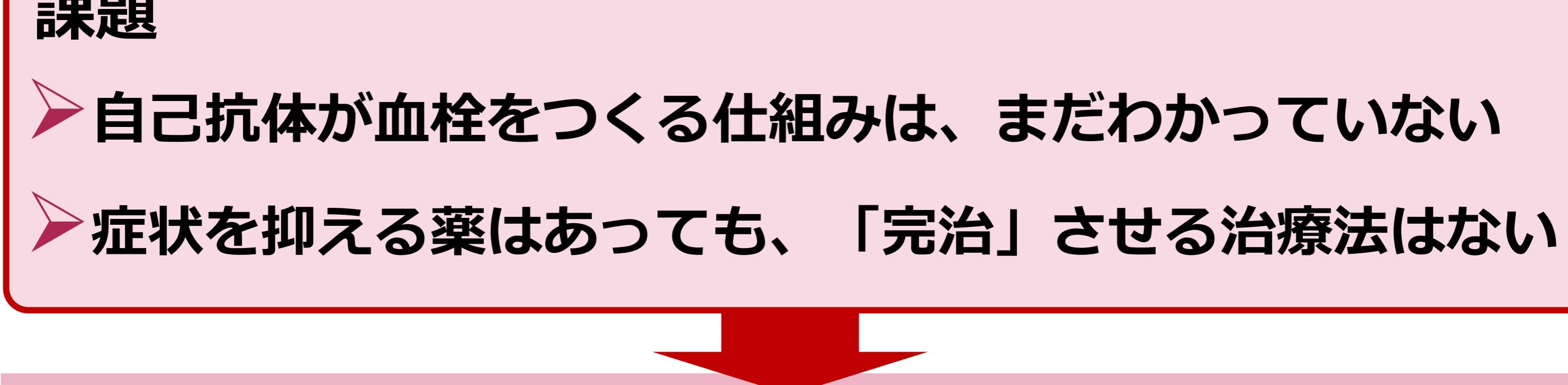
脳や肺の
血管に多い

Q. どんな病気？

A. 全身に血のかたまり（**血栓**）ができる病気

Q. どうして血栓ができるの？

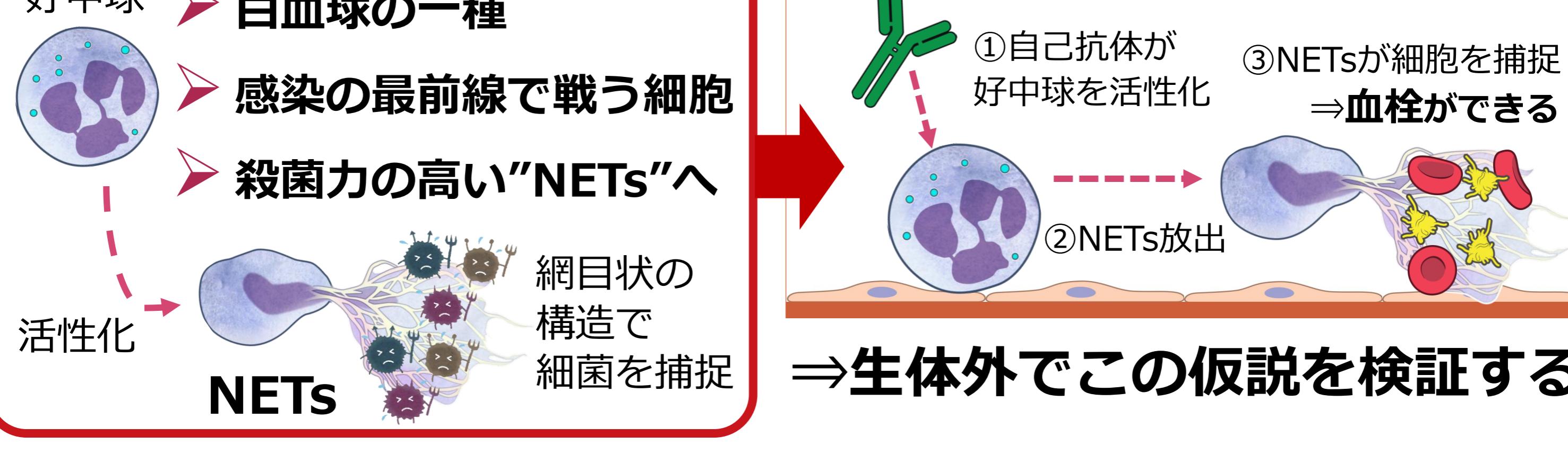
A. 体の一部を攻撃する抗体（**自己抗体**）が関係…？



課題

➤ 自己抗体が血栓をつくる仕組みは、まだわかっていない

➤ 症状を抑える薬はあっても、「完治」させる治療法はない



研究成果

◎自己抗体の一種がNETsを誘導することを新発見！

◎NETsが血小板を捕捉し、活性化させることを実証



本研究が社会にもたらす影響
➤ APSにおける原因不明の血栓の仕組みの一部を解明
➤ 好中球を対象とした「根本的治療法」開発のきっかけ
⇒ 「未来社会のあるべきかたち」の実現へ前進

